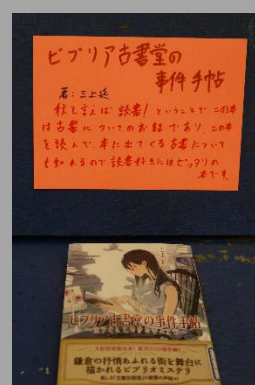
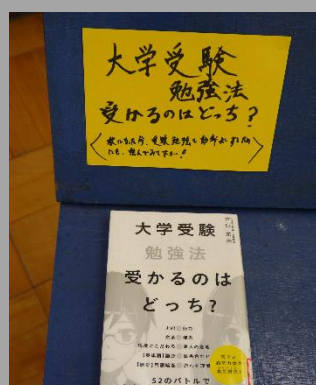


企画展示 2019.11

「秋に読みたい本」



1ヶ月前は「涼しい」と言っていたのに、もうこの時期寒くて、早くストーブをつけてくれ、と思ってしまいますね。

さて、今月の図書委員会企画展示班よりお薦めの本の紹介です。

『大学受験勉強法 受かるのはどっち?』

「どっち?」と書いてあるので、二者択一形式だと言うのが想像できる本。4章52問から成り、天才目線と超努力家目線のバトルに様々な受験生を見てきた著者が結論を出す。全部読まなくてもOKだけど、結局全部読んでしまうのでは?

『お待ちしてます 下町和菓子栗丸堂』

いわゆるイケメン風の和菓子職人が従業員や幼なじみ、「和菓子のお嬢様」とともに豆大福やどら焼きといった和菓子に関する謎解きをしていくというお話。あんこって奥が深い。

『ビブリア古書堂の事件手帖～菓子さんと奇妙な客人たち～』

鎌倉にある古本屋が舞台。この女性店主の古書の知識と古書自体は本物。本に対する魅力が倍增します。鎌倉に旅行に行った先生が「ビブリア古書堂を探したけどなかった。」と。もちろん、ビブリア古書堂という古本屋さんはありません。